

学習課題（4年生）

【算数】「※」は学習するときのヒントです。

<学習内容>

◆「くらべ方」（教科書⑥60～67 ページ）

1

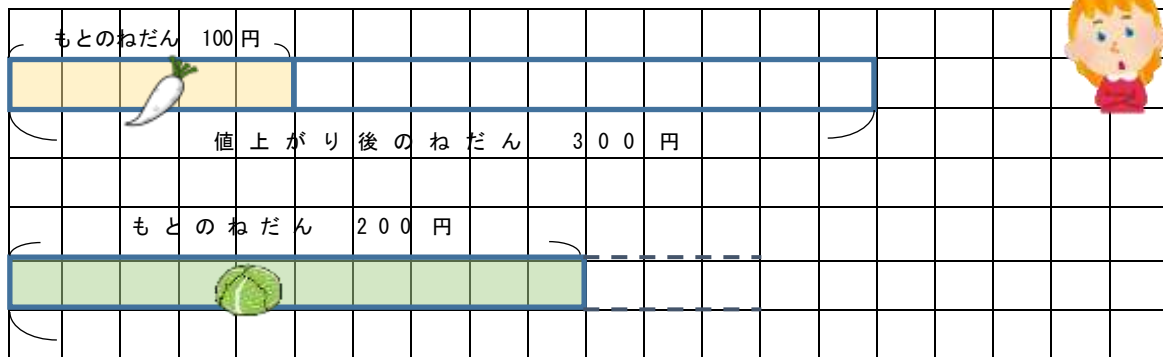
あるお店の大根とキャベツの「もとのねだん」と「値上がり後のねだん」は、下の表のとおりです。どちらのほうが値上がりしたといえるでしょうか。

		もとのねだん（円）		値上がり後のねだん（円）
大根		100		300
キャベツ		200		400



値上がりのしかたをくらべるには、どのように考えればいいのか。

大根を例にして、キャベツ、もやしの「もとのねだん」と「値上がり後のねだん」の関係を図に表しましょう。



自分の考えを説明してみよう



自分の考えは（どちらも同じ， _____の方が値上がりした）と思います。

なぜかというと、

だからです。

※教科書 62 ページのはるさん、ゆきさんの考えと自分の考えをくらべてみましょう。

二人の答えがちがうのはどうしてかな。



教科書 62 ページのように、大根やキャベツの数を変えた場合を考えて、値上がりのしかたをくらべましょう。

大根	
1本のとき、100円	→ 円
2本のとき、200円	→ 円
3本のとき、300円	→ 円

キャベツ	
1本のとき、200円	→ 円
2本のとき、400円	→ 円
3本のとき、600円	→ 円

同じもとのねだんが200円の場合をくらべると大根の方が値上がりしているね。



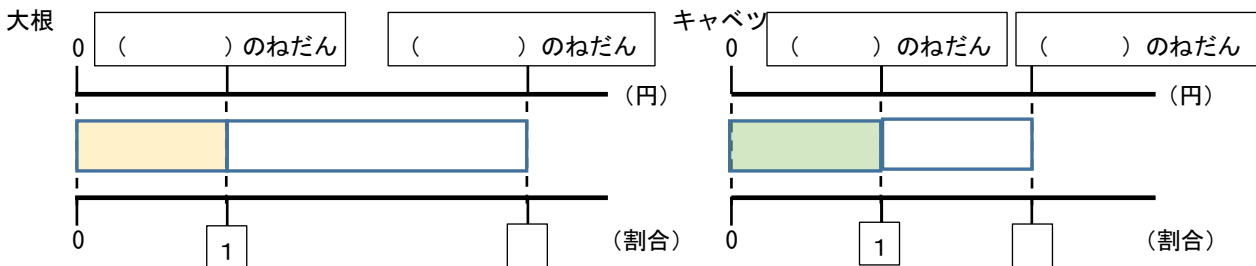
大根 → もとのねだんの () 倍
 キャベツ → もとのねだんの () 倍



大根の「もとのねだん」を1とみると、「値上がり後のねだん」は、いつも3になっているよ。

「もとにする量」を1とみたとき、「もう一方の量」はどれだけにあたるかを表した数を、**割合**（わりあい）といいます。

「もとのねだん」を1とみて、「値上がり後のねだん」の割合を数直線に表しましょう。



教科書 63 ページの [1] に取り組みましょう



他にも割合を使える場面はあるのかな？



2

れおさんと㊶、㊷のゴムをいっぱいまでのばした長さは、下の表のとおりです。れおさんのゴムひもと同じのび方をするゴムひもは㊶と㊷のどちらでしょうか。

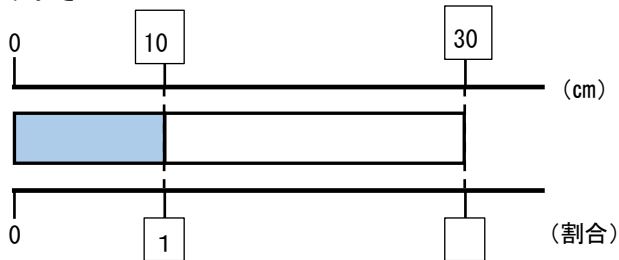
	もとの長さ (cm)	いっぱいまでのばした長さ (cm)
れおさんの ゴム	10	30
㊶のゴム	6	18
㊷のゴム	4	16

数直線に表してみ
ましょう。

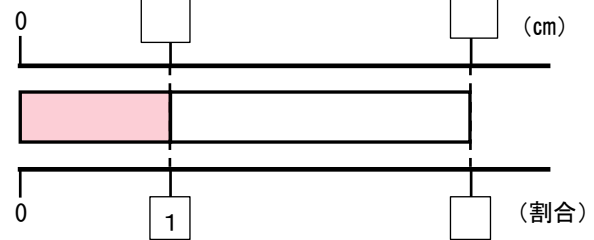


どんなことをくらべれば「同じのび方」といえるのかな。

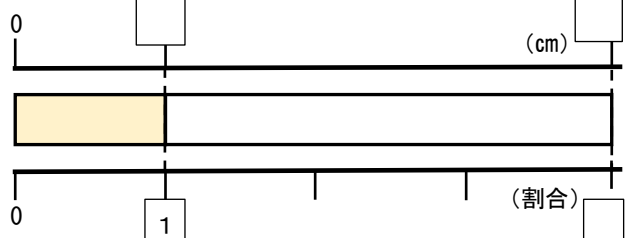
れおさんのゴム



㊶のゴム



㊷のゴム



答え

() のゴム

理由 ()

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆「くらべ方」(教科書⑥60～67 ページ)

- ・量の違いを比べる時には、差で比べる場合と、2つの量の割合で比べる場合があることを学びます。
- ・小学校の学習で最もつまづきやすいのが割合の学習です。そのため、子どもは2つの量を比較する時に、これまで学んできた差を使って考えてしまいます。
- ・割合で考えることは難しいため、図や数直線に表しながら、割合の意味を理解していくことが重要です。
- ・何倍かを考えるのも割合の一つです。